（別紙４（２））

事業所名　グループホーム　わかば

# 目標達成計画

作成日：　平成　２３年　３月　２０日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ４（３） | 運営推進委員会や地域にもっと輪を広げ、気軽に来れる体制作りの充実２ヶ月に１回行えるようにしていく。 | いつでも気軽に遊びに来れる。又、認知症についての相談、介護についての相談窓口を行う。 | 地域の方が気軽に足を運んで下さるような行事お茶会等のお便りの配布を行っていきたい。ボランティアにより地域の方の演芸などの働きかけを積極的に取り組む。 | １２ヶ月 |
| 2 | ３５（１３） | 火災訓練は行ってはいるが、実際火事が起きた時は、どれだけの方を誘導できるか不安がある。 | 「火事は出さない」<br>職員一人ひとりが、火の元には十分気を付ける。 | 地域の消防団・消防署の方々にお願いし避難訓練に立ち合って頂き、どのような手順で避難を行うか再度指導を受けたい。 | １２ヶ月 |
| 3 | | ＡＤＬの低下に伴い、認知症の進行、特に、面会の少ない方は寂しい気持が現われ、、本人の不安や不穏状態等混乱が見られてくる。 | 日々不安なく安心して毎日が生活出来るよう支援していただく。 | 寄り添う事により、その方の内面を感じ・気付き、その場面に応じた対症療法の一つとして・・・<br>「入浴時は１対１であり、スキンシップを図れる」<br>特に性格がおとなしい方は本音で言って下さるよう努める。 | １２ヶ月 |
| 4 | | 家族会を定期的に行い、自分の親がホームでどのような生活をされているか、現実を見守って頂きたい。 | 昼食会、お茶会など開き、ご家族に参加していただき、親子等で楽しい一時を過ごしていただきたい。 | お花見・軽食喫茶など計画を立て、参加して頂けるよう日時等を考慮し、継続していく。 | ６ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。